

## 資料の説明

## 第4期 市川市地域福祉計画の進捗状況について

## 1. 「進行管理事業」の内部評価

第4期の地域福祉計画は、福祉分野の横断的事業として位置づける計画であることを踏まえ、進行管理が必要と考えられる22の事業を「進行管理事業」として設定しています。

基本目標ごとに分類した進行管理事業は、毎年度評価することとなっており、今年度は令和元年度の評価について、ご報告するものです。

評価は、目標値を設定し、その実施した内容について、A～Dを用いて評価し、A評価は達成率が75%以上、B評価は達成率が50%以上75%未満、C評価は25%以上50%未満、D評価は25%未満として評価し、数値目標を設定していない事業などについては、実施した事業内容ごとに判定し、評価しています。

目標達成度は、それぞれの基本目標において設定した事業におけるA～Dの評価を、それぞれ100点、75点、50点、25点で配点し、その合計点を満点の数値で除し、これに100を乗じて得た数値を、「目標達成度」としています。(小数点以下は四捨五入)

全体まとめ⇒ 資料 1-①-1

個別の個票⇒ 資料 1-①-2

## 2. 「進行管理事業」を実施した効果

進行管理事業を実施したことに伴い、市民の皆様にごどのような効果があったのかを測定するため、本市の登録制のアンケートシステムである「e-モニターアンケートシステム」を利用して、2カ年比較を実施しました。(福祉委員への個別アンケートは、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、今年度未実施)

前回アンケートを実施した平成30年度と、今年度(令和2年度)を比較した結果、ほぼすべての事業において、事業を実施した効果が現れています。

全体まとめ⇒ 資料 1-①-3

アンケート詳細⇒ 資料 1-①-4